



2019年3月期第2四半期 決算説明会

2018年11月29日
黒崎播磨株式会社

(証券コード:5352)


100年の技術を未来へ

1. 2019年3月期第2四半期連結決算の概要


2. トピックス

<参考①> 2020年中期経営計画の概要

<参考②> 当社の概要

【本資料中の数値表示について】

特段の注記がない場合、金額表示は表示未満単位を切り捨て、百分率は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを表示しております。



2019年3月期第2四半期
(2018年度上期)
連結決算の概要

事業環境

- ◆ 国内粗鋼生産 : 2018年度上期は前年比0.3%増の5,221万トン。
- ◆ 世界粗鋼生産 : 2018年1～9月は前年比5.4%増の13億4,698万トン。
中国・インドの伸びが大きいことに加え、鉄鋼関税による米国高炉再稼動もあり北米も好調。

トピックス

- ◆ 耐火物 : 国内耐火物および海外事業の伸展、原料価格高騰の販売価格への反映等により売上高増加。
損益面では原料価格やエネルギー・物流コスト等の上昇影響はあったが、海外子会社の業績向上等により増益。
- ◆ ファーネス : 大型高収益案件により売上高・利益ともに増加。
- ◆ セラミックス : 半導体製造装置および電子部品向け製品の需要が引き続き堅調であり、売上高・利益ともに高水準を維持。

決算概況

- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、純利益、いずれも上期**過去最高**を達成。
中間配当も50円増配の100円とし、**過去最高**。

2018年度上期決算の概要

単位:億円

	17年度上期		18年度上期	
売上高	586.9	714.9	+ 128.0	+ 21.8%
営業利益	38.7	54.3	+ 15.6	+ 40.4%
経常利益	42.3	57.6	+ 15.3	+ 36.1%
純利益*1	27.2	36.5	+ 9.2	+ 34.0%
ROS*2	7.2%	8.1%	+ 0.9pt	—
ROE*3	10.0%	13.3%	+ 3.3pt	—
中間配当	50円/株	100円/株	—	—

*1:親会社株主に帰属する四半期純利益

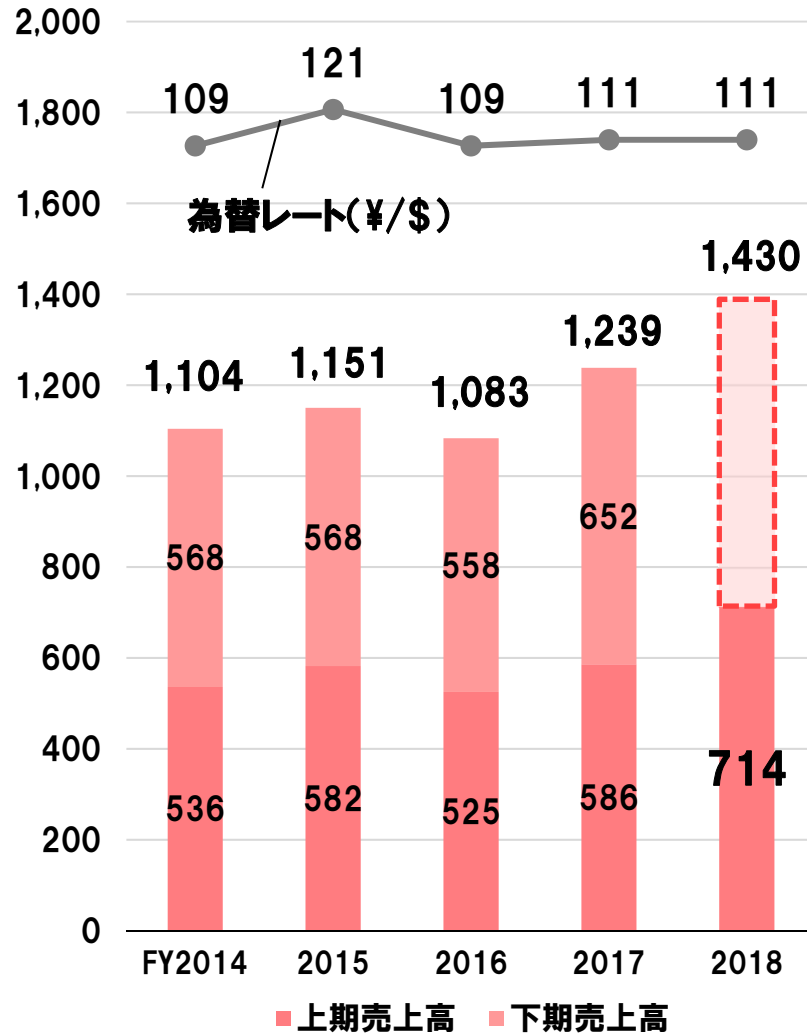
*2:売上高経常利益率

*3:ROE(自己資本利益率)は上期の四半期純利益を2倍にして算定

上期主要指標推移

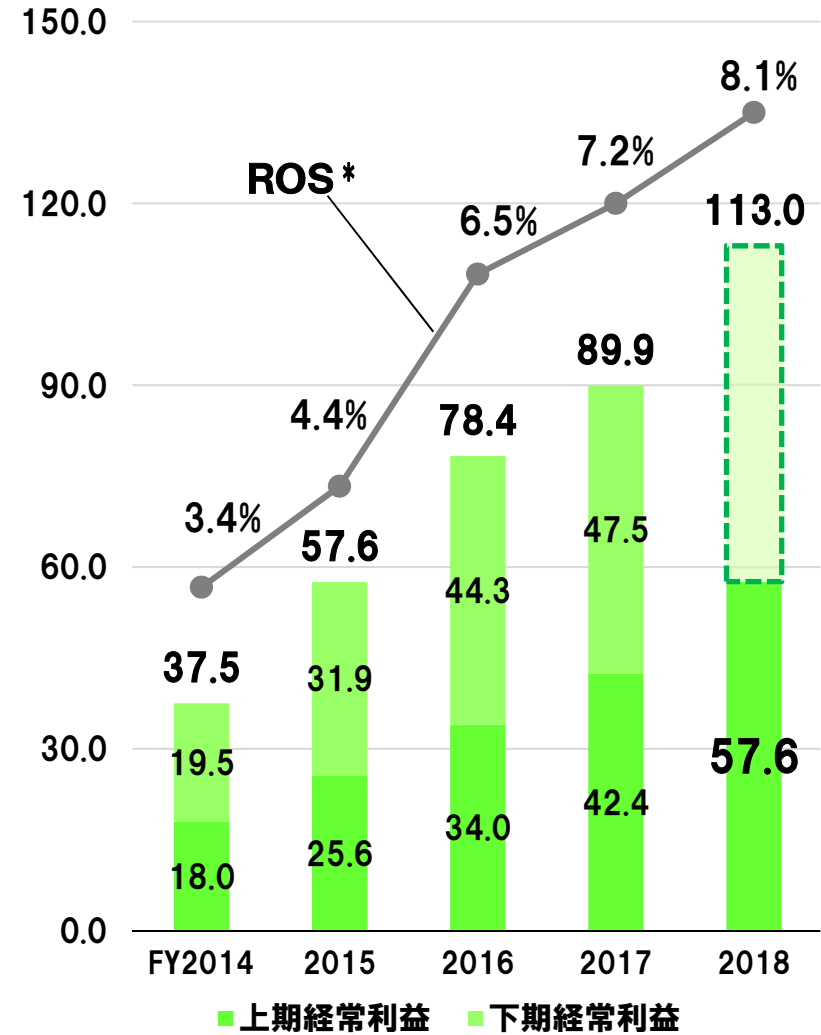
売上高

単位: 億円



経常利益

単位: 億円

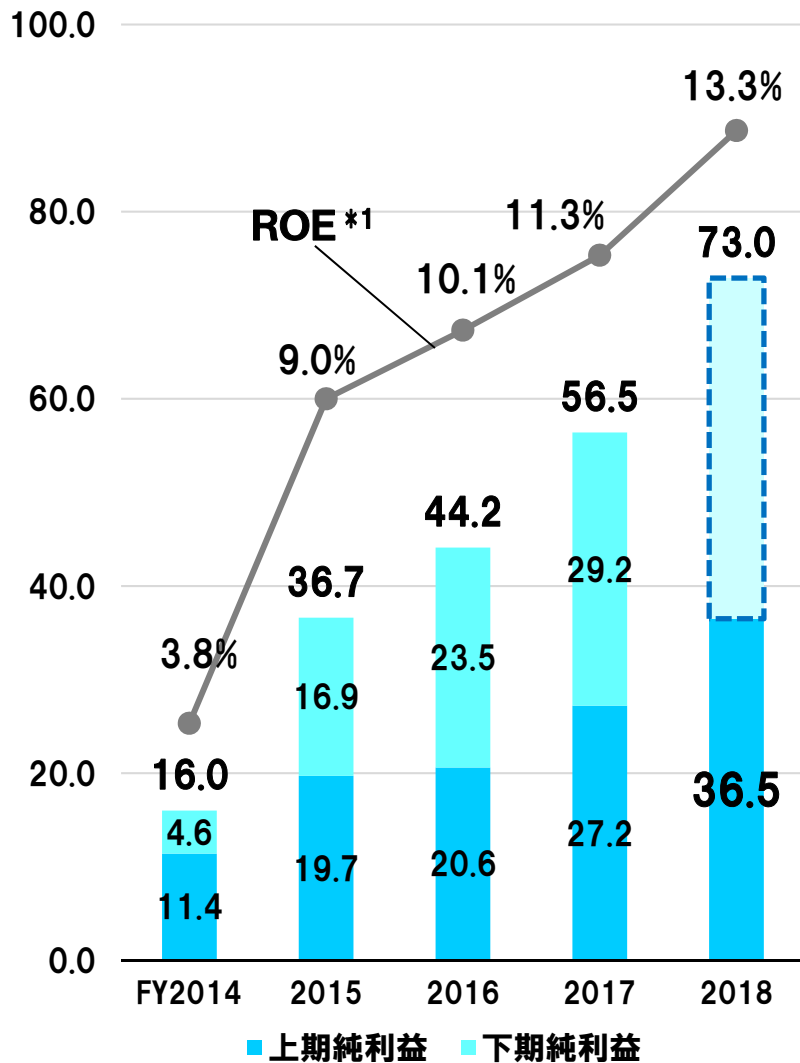


*通期の売上高経常利益率。2018年度のみ上期数値。

上期主要指標推移

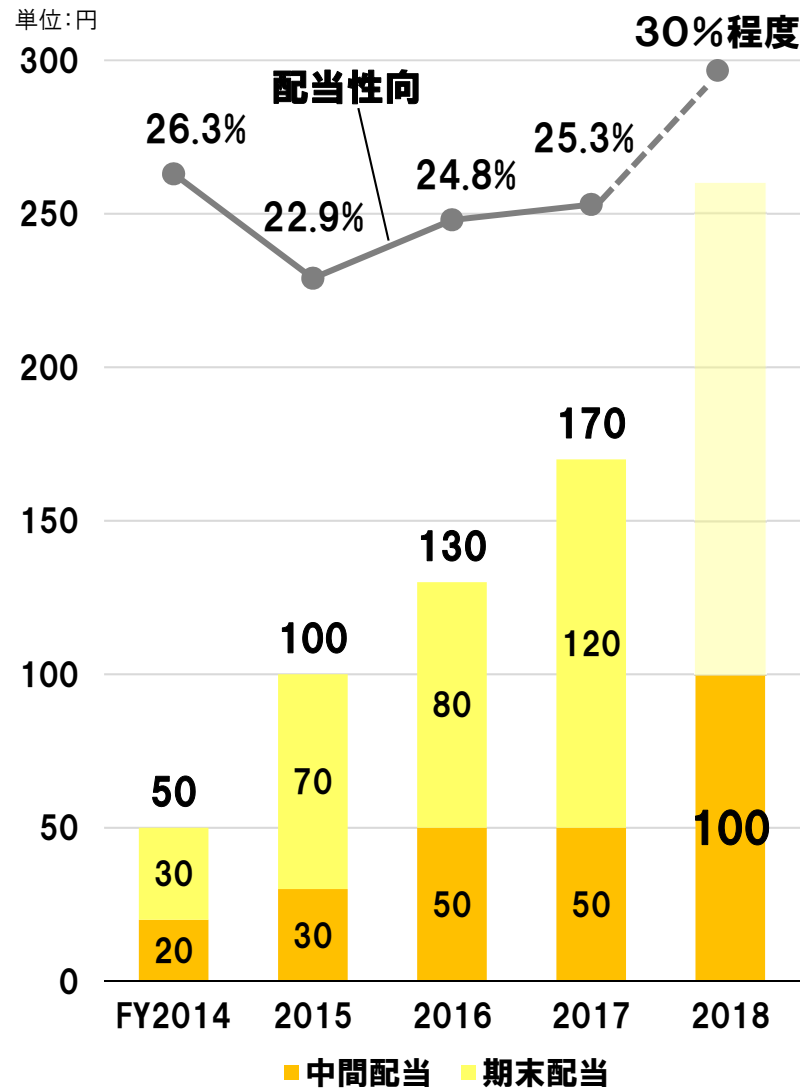
純利益

単位: 億円



株主配当*2

単位: 円



*1: 通期の売上高経常利益率。2018年度のみ上期数値。

*2: 2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施したため、2017年度上期までの配当額は10倍に換算して表示しています。

財務状況

<貸借対照表の状況>

単位:億円

	18年3月末	18年9月末	対前年度末比	
資産	1,310	1,340	+ 29	+ 2.3%
流動資産	844	876	+ 32	+ 3.8%
固定資産	323	325	+ 1	+ 0.6%
投資その他資産	142	138	▲ 3	▲ 2.9%
負債	732	747	+ 14	+ 2.0%
純資産	577	592	+ 15	+ 2.6%

有利子負債残高	352	345	▲ 7	▲ 2.1%
D / E レシオ	0.66	0.63	▲ 0.03	-
自己資本比率	40.7%	40.8%	+ 0.1pt	-

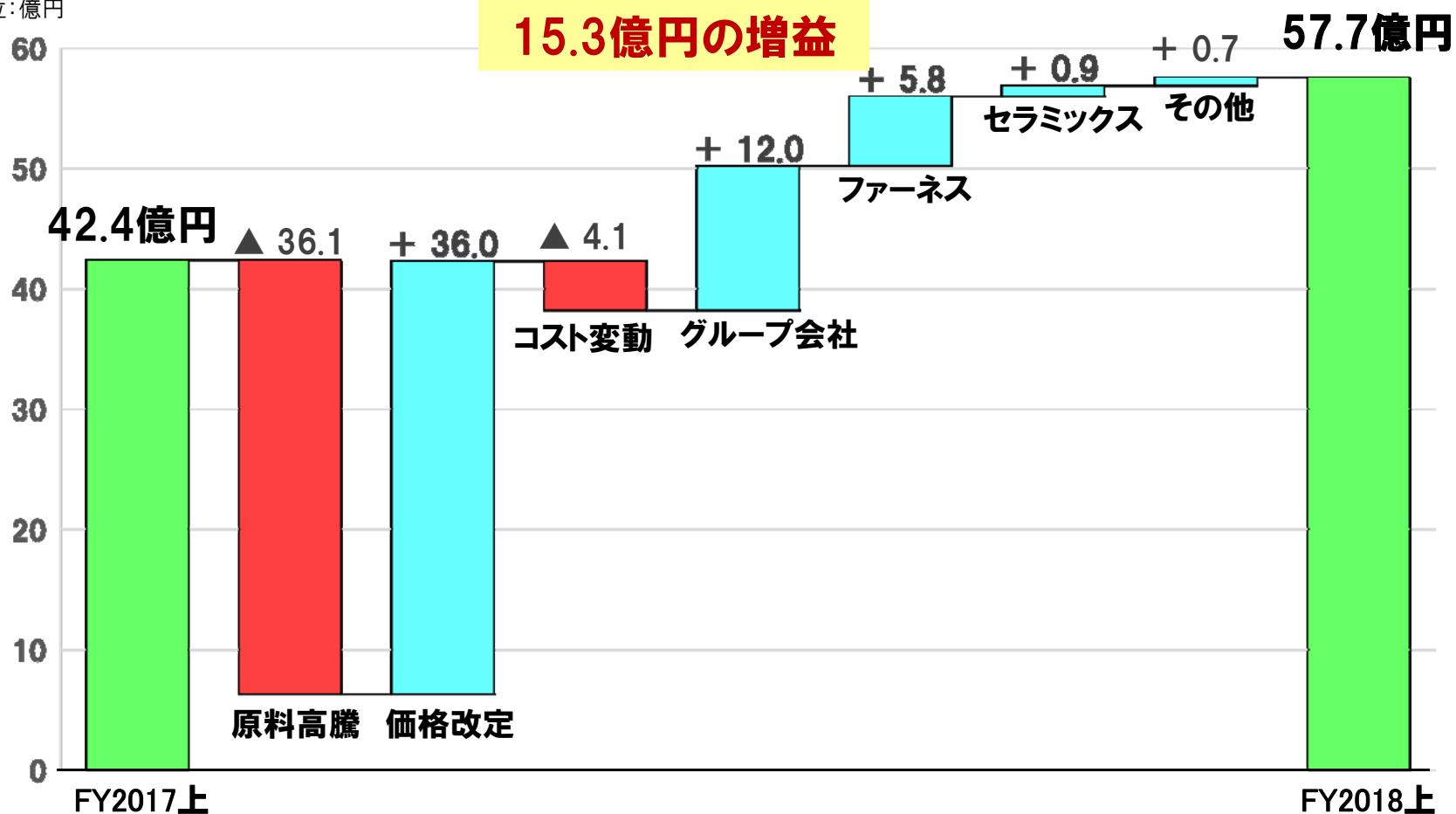
<キャッシュフローの状況>

	17年度上期	18年度上期	当期の主な内容
営業キャッシュフロー	39.4	19.7	税前当期純利益 +58.2、減価償却費 +13.0 運転資金の増加 ▲42.8、法人税等の支払い ▲11.6
投資キャッシュフロー	▲ 14.4	▲ 12.3	固定資産の取得 ▲13.6
フリーキャッシュフロー	25.0	7.3	
財務キャッシュフロー	▲ 13.5	▲ 17.2	借入金等の減少 ▲5.4 配当金の支払い ▲10.0

経常利益増減要因分析

原料高騰の影響は価格改定で挽回。
海外グループ会社の業績向上、ファーンネス事業・セラミックス事業の
好調により増益。

単位: 億円



セグメント別業績

単位: 億円

		17年度上期	18年度上期	対前年同期比	
耐火物	売上高	466.8	583.9	+ 117.0	+ 25.1%
	セグメント利益	24.3	33.4	+ 9.0	+ 37.2%
ファーンレス	売上高	76.0	86.7	+ 10.6	+ 14.1%
	セグメント利益	4.3	10.3	+6.0	+ 138.0%
セラミックス	売上高	35.2	36.1	+ 0.9	+ 2.7%
	セグメント利益	5.3	6.1	+ 0.8	+ 16.6%
不動産他	売上高	8.7	8.0	▲ 0.7	▲ 8.1%
	セグメント利益	4.7	4.3	▲ 0.3	▲ 6.8%
合計	売上高	586.9	714.9	+ 128.0	+ 21.8%
	セグメント利益	38.7	54.3	+ 15.6	+ 40.4%

※各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

業績

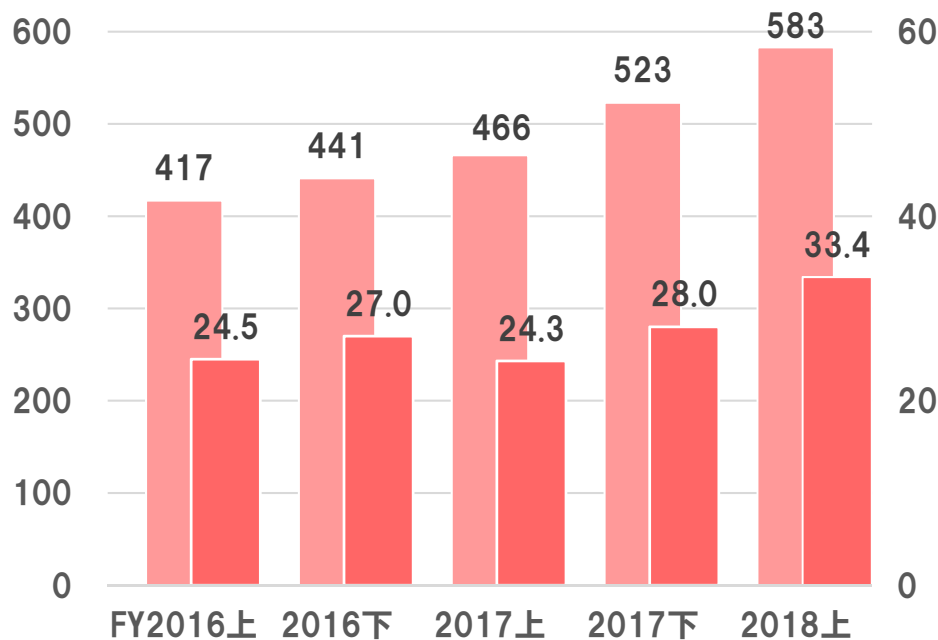
単位: 億円

	17年度上期	18年度上期	対前年同期比	
売上高	466.8	583.9	+117.0	+25.1%
セグメント利益	24.3	33.4	+9.0	+37.2%

推移

単位: 億円

■売上高 ■セグメント利益



業績ハイライト

- 国内耐火物の受注増、海外子会社の拡販および原料価格高騰の販売価格への反映により増収。
- 原料を始めとしたコスト上昇に対して、コストダウン、国内外での販売価格改定を推進。
インドTRL社およびスペインAMR社の最高益達成等、海外子会社の業績向上もあり増益。
- 原料高騰に対しては、期中の上昇分を次期の販売価格に反映。

業績

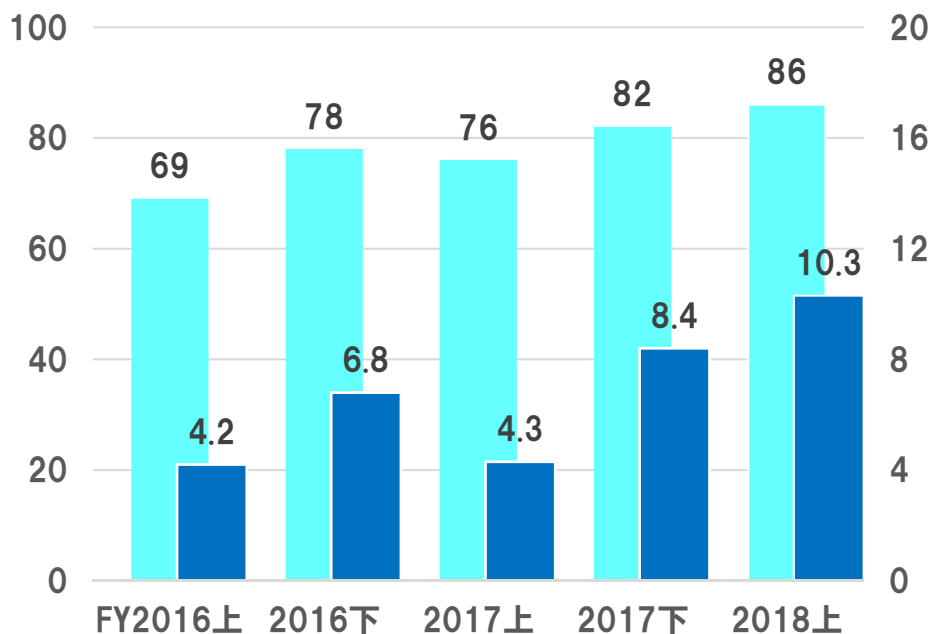
単位:億円

	17年度上期	18年度上期	対前年同期比	
売上高	76.0	86.7	+10.6	+14.1%
セグメント利益	4.3	10.3	+6.0	+138.0%

推移

単位:億円

■売上高 ■セグメント利益



業績ハイライト

- ・加熱炉補修案件を始めとする大型案件の増加により増収増益。
- ・コークス炉補修工事により増収。
- ・発電ボイラー・熱処理炉等の工業炉省エネ工事案件の継続。
- ・事業拡大への対応および技能伝承を積極的に推進すべく、人材採用・育成と新規工法開発等を推進。

業績

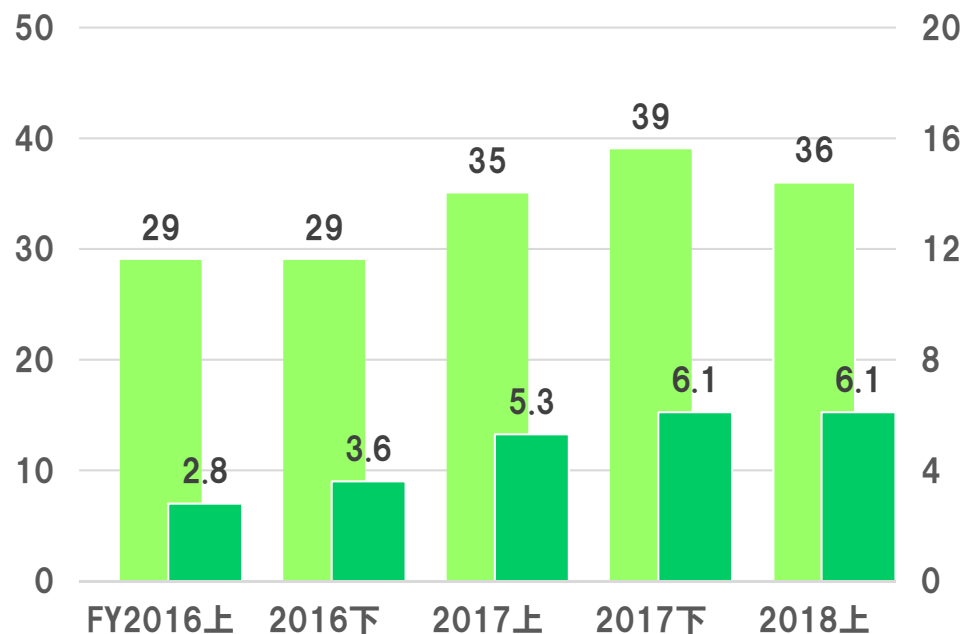
単位: 億円

	17年度上期	18年度上期	対前年同期比	
売上高	35.2	36.1	+0.9	+2.7%
セグメント利益	5.3	6.1	+0.8	+16.6%

推移

単位: 億円

■ 売上高 ■ セグメント利益

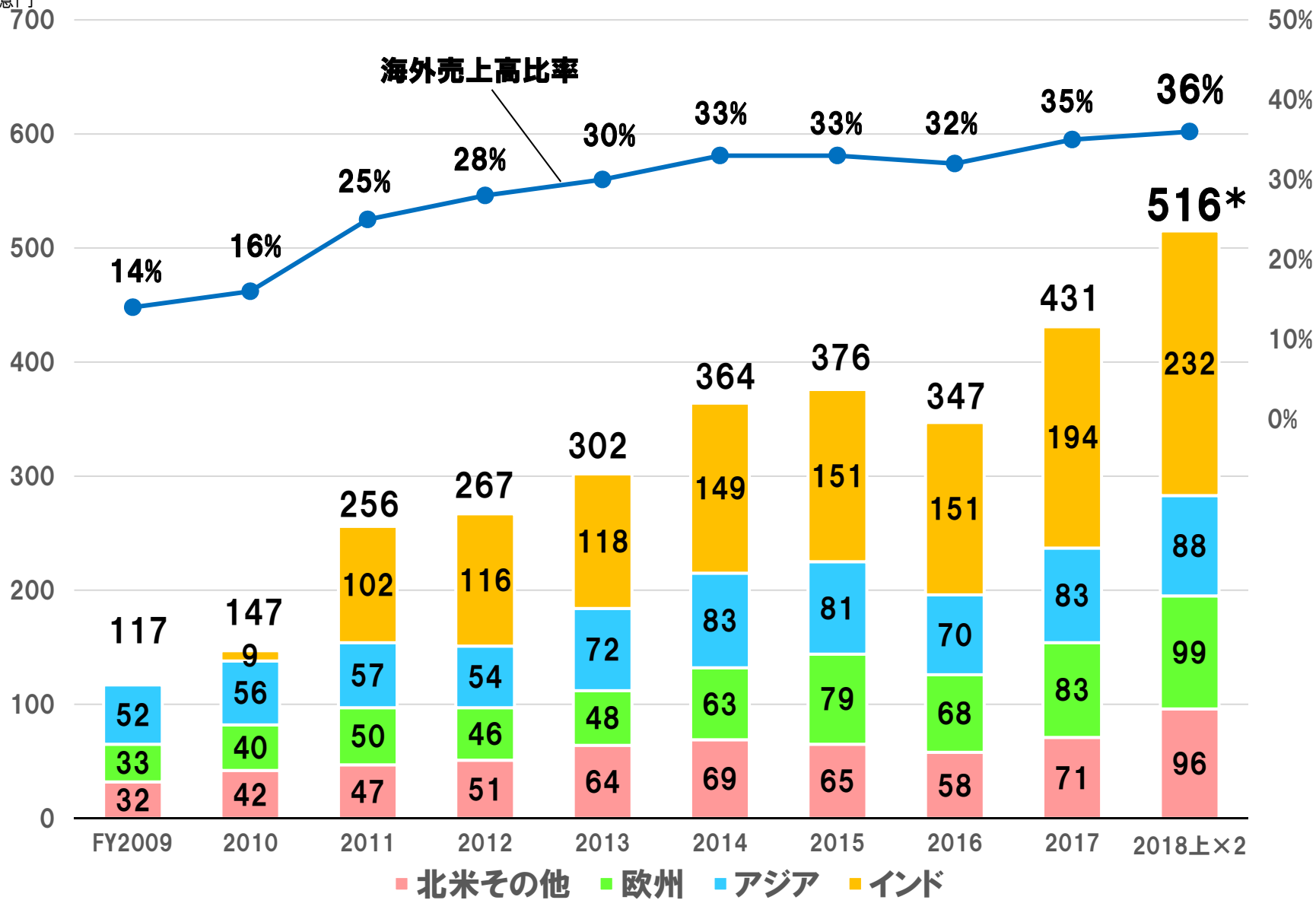


業績ハイライト

- 半導体製造装置向け製品の需要は堅調であり、ファインセラミックスの事業環境は良好。原料価格上昇もあり、適正価格化を推進。
- セラミックコンデンサの需要は高位安定しており、電子部品焼成用部材は増収増益。旺盛な需要に応えるべく、生産能力増強のための設備投資を実行中。
- 燃料電池・リチウムイオン電池向け断熱材の売上高は堅調。

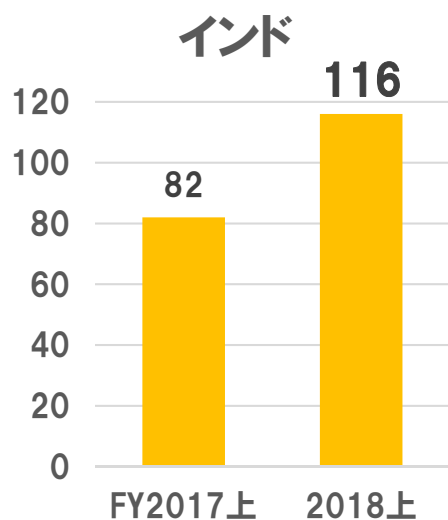
海外売上高推移(日本円ベース)

単位:億円

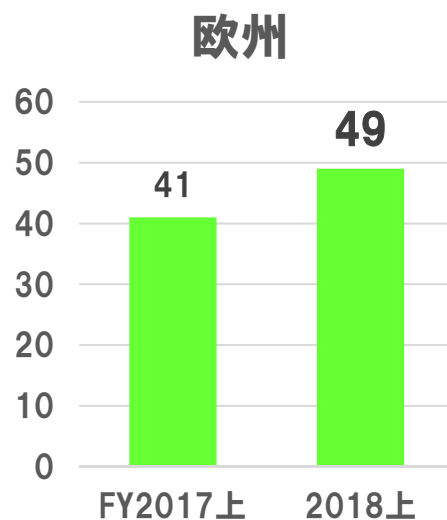


*上期売上の2倍の数値を表示しています。

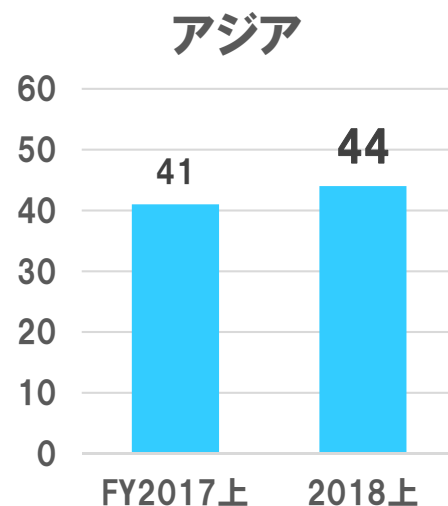
地域別上期売上高(日本円ベース、単位:億円)



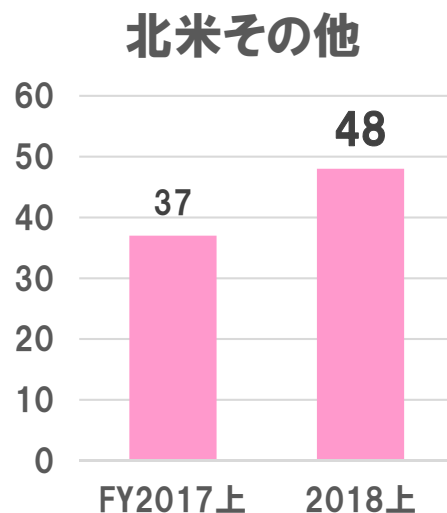
- 粗鋼生産量は順調に伸びており、耐火物需要拡大が継続。
- 原料高騰の販売価格への転嫁が順調に進展。
- 高炉用充填材の拡販が進展。
- インドTRL社は最高益を更新。



- 粗鋼生産量は横ばいだが、転炉用れんがの売上高は増加。
- 原料高騰の販売価格への転嫁が順調に進展。
- スペインAMR社とオランダKEB社は最高益を更新。



- 台湾:粗鋼生産量は横ばいだが、転炉用れんが・窯炉用補修材の売上高増加。
- 台湾・マレーシア:出銑口充填材の拡販が進展。



- 北米:粗鋼生産量の増加に伴う耐火物需要の増加。
- 北米:SN装置とSN耐火物のセット販売による売上高の増加。
- その他:アフリカ向けセメント用れんがの売上増。

※ SNとは、溶鋼の流量制御に使用される装置や耐火物を指します(スライディングノズルの略称)。

2018年度通期業績見通し

売上高については、国内での堅調な需要や海外での拡販が見込まれることから増収を見込む。

利益については、海外子会社の利益増やファーンネス事業の好調により増益を見込む。

単位: 億円

	2017年度	2018年度	対前年比	
売上高	1,239.7	1,430.0	+ 190.3	+ 15.3%
営業利益	84.9	110.0	+ 25.1	+ 29.5%
経常利益	89.9	113.0	+ 23.1	+ 25.7%
当期利益	56.5	73.0	+ 16.5	+ 29.2%
R O S	7.3%	7.9%	+0.6pt	—

業績に応じた配当を原則とする

	2016年度	2017年度	2018年度
第2四半期末	50円	50円	100円
期 末	80円	120円	未定
合 計	130円	170円	未定

※当社は2017年10月1日に10株を1株に併合する株式併合を行っています。
本株式併合を勘案し、2017年度第2四半期末以前の配当は1株当たり10倍
として計算した額を記載しています。

※期末配当については、配当性向30%程度を基準に、より確実な業績見通しが
可能となった時点で判断いたします。



トピックス

海外での更なる成長のため、グループ会社を
中核としたグローバル展開を継続推進。

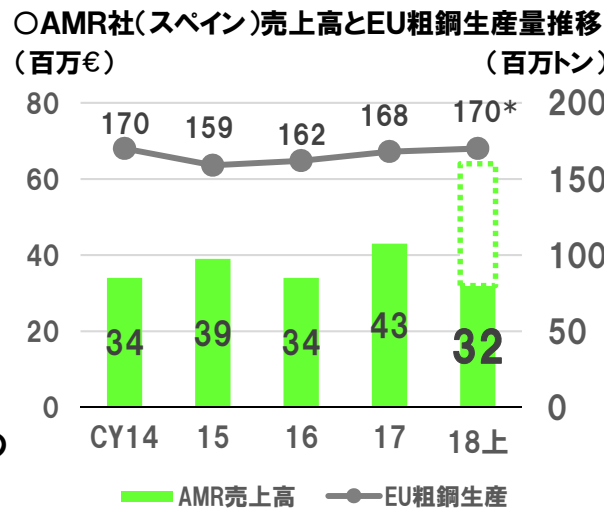


◆スペイン

Krosaki Amr Refractarios, S.A.



EU圏の粗鋼生産セメント生産は横ばい
傾向が続くが、品質・デリバリー上の
強みを活かしてシェア拡大及び域外への
輸出を実行。



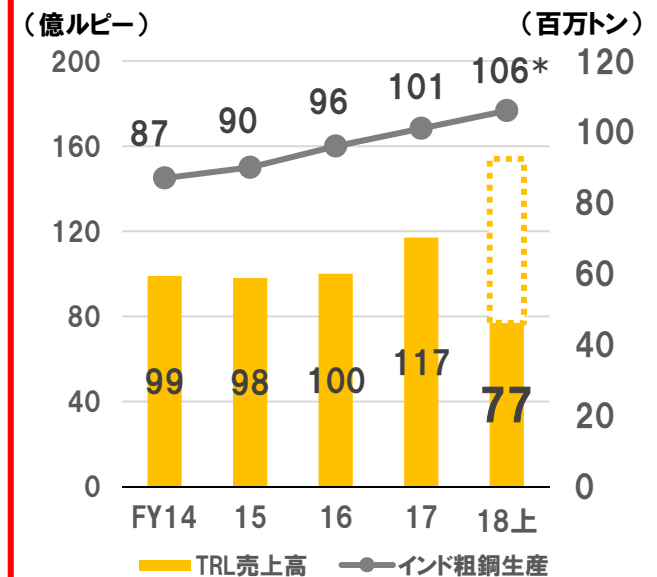
◆インド

TRL KROSAKI REFRACTORIES LIMITED



インドにおける粗鋼生産は着実に成長。
更なる耐火物需要の伸びを捕捉すべく、
能力増強投資を継続的に実施。

○TRL社(インド)売上高とインド粗鋼生産量推移



* 2018年の粗鋼生産量は、2018年1月～9月期の累計を4/3倍にして試算。

宇宙光学関連分野の新展開として、超低熱膨張の特性を活かした宇宙望遠鏡用セラミックスミラー試作品をJAXAに納入。

JAXA向け宇宙望遠鏡用セラミックスミラー試作品



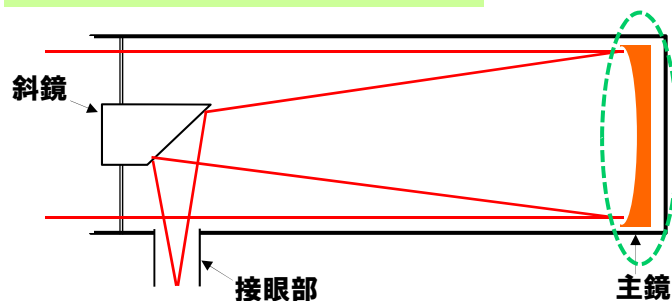
表面



裏面

ゼロ熱膨張セラミックス「NEXCERA™」製。室温近傍(22~23℃)でゼロ膨張、またガラスに比べ高強度・高剛性の特長を持つ。

一般的な望遠鏡の構造イメージ



天体望遠鏡では、レンズに代わり凹面鏡を使って光を集める。この部分にセラミックスミラーを用いる。

1919 - 2019

100年の技術を未来へ。

KROSAKI 黒崎播磨株式会社
KROSAKI HAYAMA CORPORATION
〒806-8586 北九州府八幡西区東原町1-1
TEL: 093-422-7224 FAX: 093-422-7200
http://www.krosaki.co.jp/ nexcera_jpn

100
100年の技術を未来へ

※宇宙望遠鏡…地球の衛星軌道など、大気圏外である宇宙空間に打ち上げられた天体望遠鏡を指す。



【参考①】2020年中期経営計画の概要

経済環境

- ・為替レート前提: 1 \$ = 100円
- ・原料市況は上昇基調が継続。

国内粗鋼

- ・国内粗鋼生産量は現状レベル。
- ・コークス炉を中心に建設用耐火物需要は堅調。

海外粗鋼

- ・インドをはじめとする新興国の粗鋼生産量は拡大傾向が継続。
- ・欧米の粗鋼生産量は現状並み。

ファーンレス・セラミックス

- ・ファーンレス事業: 製鉄所の大型築造工事需要が継続。
- ・セラミックス事業: 半導体、コンデンサ需要の活況が継続。

基本方針

「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」の地位を確立

国内

- ・耐火物:大型建設用案件の着実な受注
- ・ファーンレス:耐火物整備事業における作業領域拡大、大型築造工事への対応
- ・セラミックス:電子産業分野の活況に対応し、事業拡大

設備投資

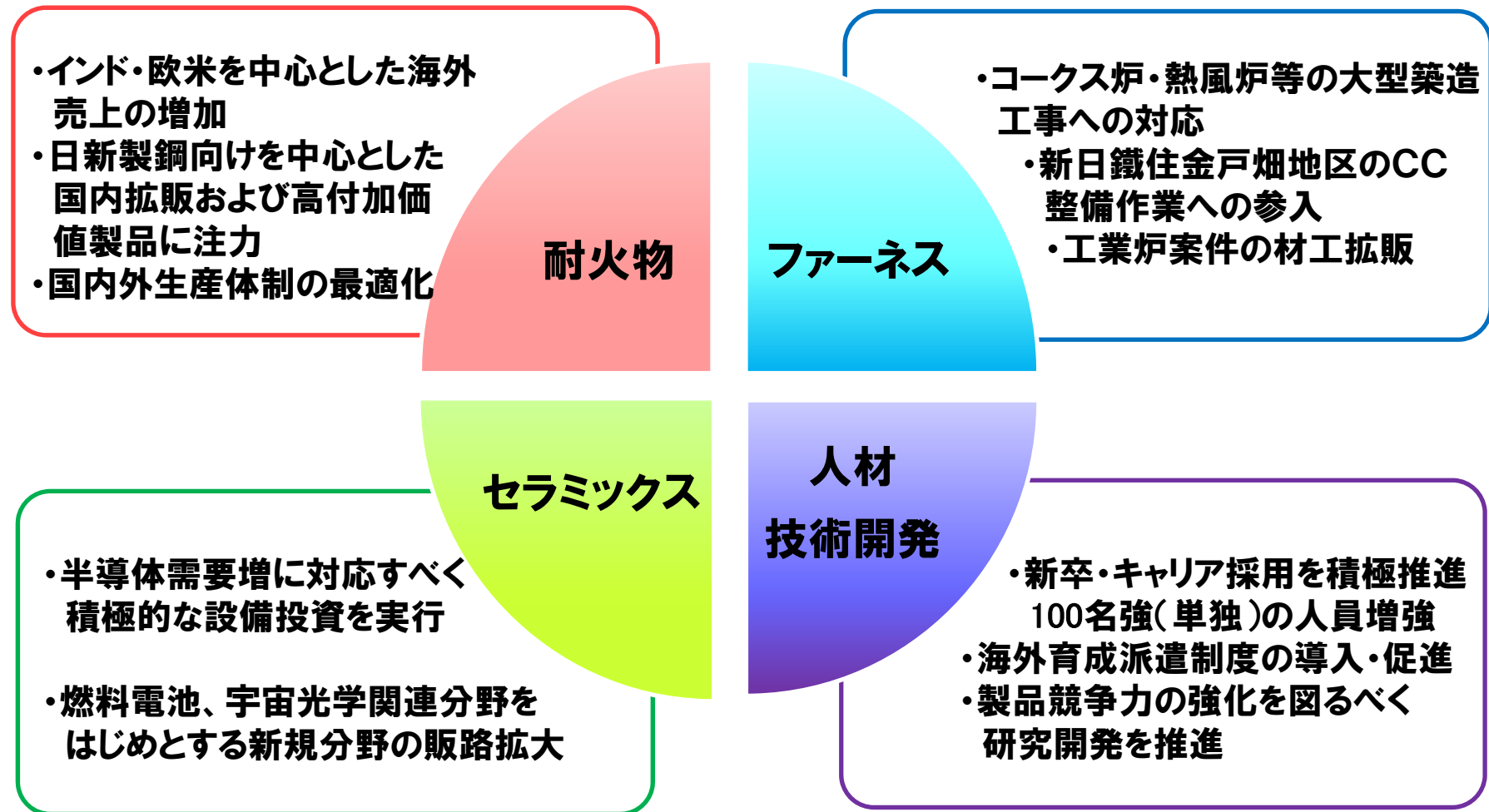
- ・過去最大規模となる、3ヵ年で160億円の設備投資
- ・国内:生産設備の近代化、セラミックス製品生産能力増強、事業基盤整備
- ・海外:中国生産拠点の再編・生産体制効率化、インドの高度経済成長に対応した積極的な設備投資

海外

- ・インドや東南アジアをはじめとする成長市場での拡販
- ・欧米の成熟市場におけるターゲット顧客のシェア拡大

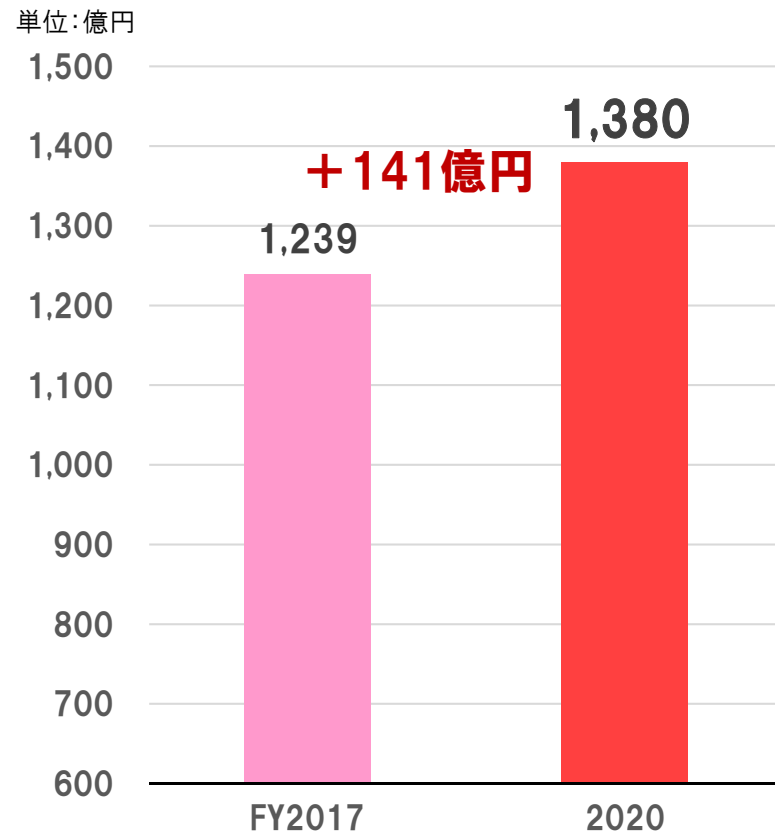
原料調達

- ・原料高騰に対応すべく、安価・安定調達体制の確立
- ・新規調達先の探索・確保

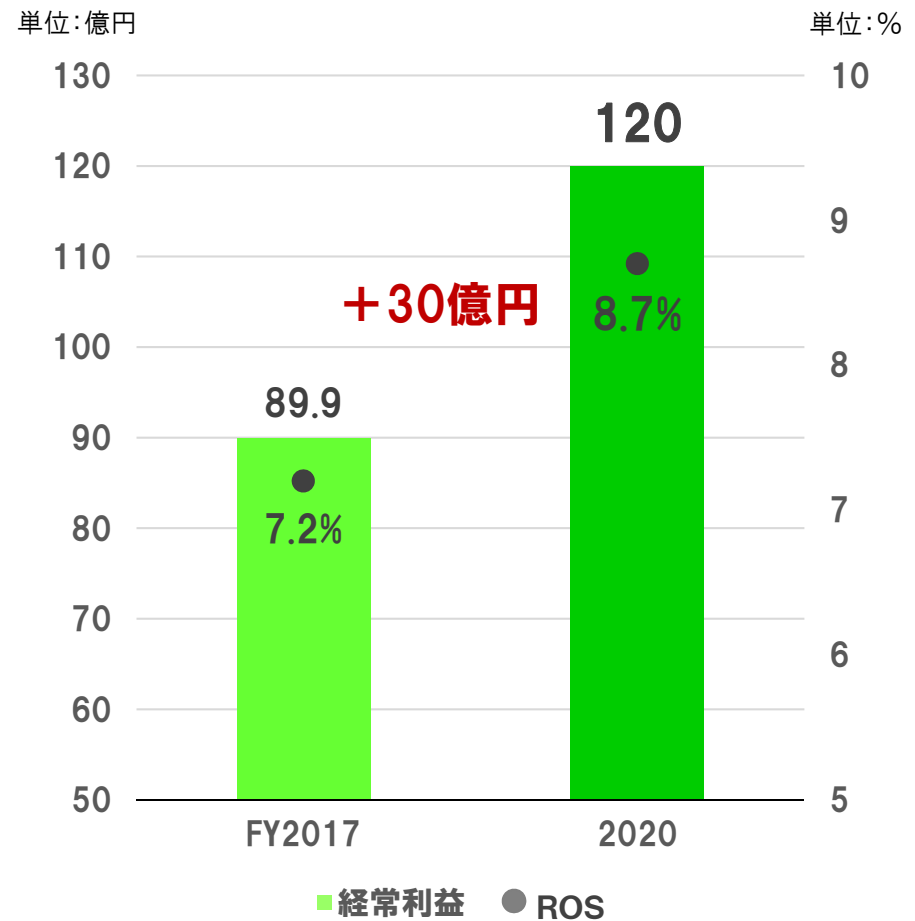


2020年中期経営計画の概要 — 業績

売上高 目標

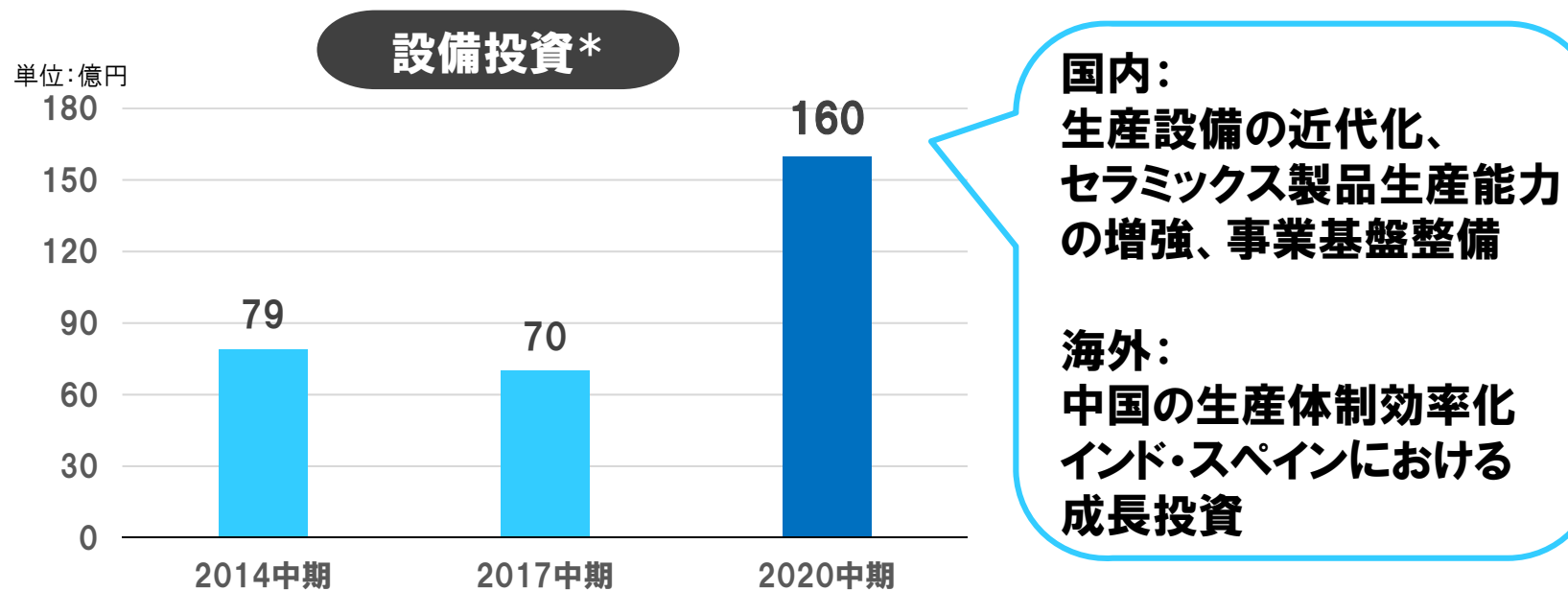


経常利益・ROS 目標



創出した利益を、

- ①株主還元強化のため、配当性向を30%程度に引き上げ、
- ②国内外の生産能力増強および生産体制効率化をメインとする設備投資へ積極的に投入する。



* 2014年中期および2017年中期の数値は取得ベースの実績値であり、2020年中期の数値は計画ベースの数値です。

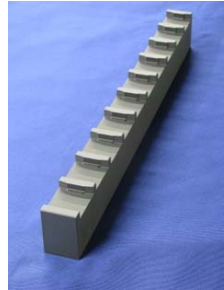


【参考②】当社の概要

商号	黒崎播磨株式会社
資本金	5,537百万円
設立	1918年10月14日
創業	1919年 6月 1日
主要事業	耐火物製造・販売
従業員	連結4,439名、単体1,329名
連結対象会社*	16社（国内5社、海外11社）

* 持分法適用会社を含む。

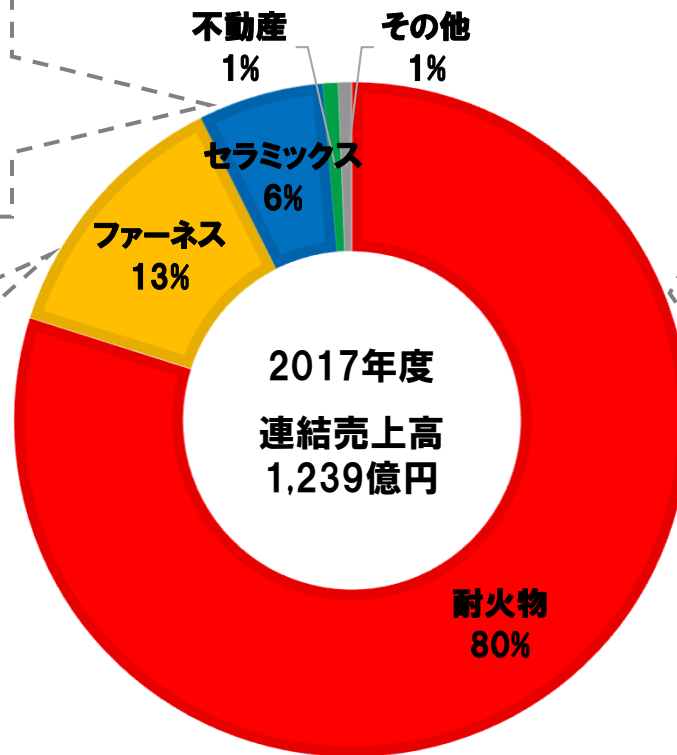
90%以上を耐火物関連事業(耐火物+ファーネス)が占める



精密測定機用基準器



電子部品焼成用部材



2017年度
連結売上高
1,239億円

耐火物
80%

ファーネス
13%

セラミックス
6%

不動産
1%

その他
1%

売上百分比

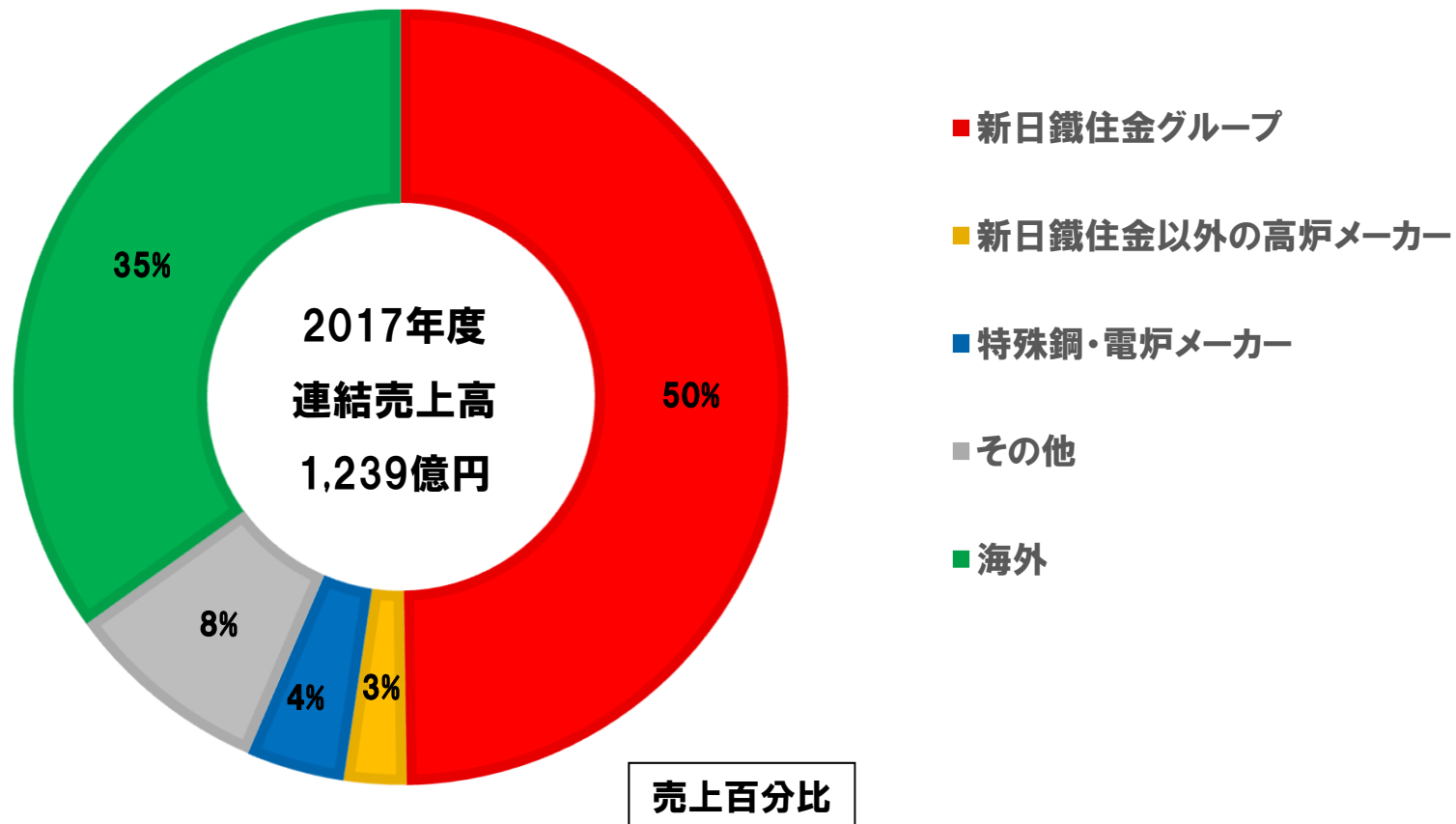


施工例)プッシャー式ビレット連続式圧延加熱炉

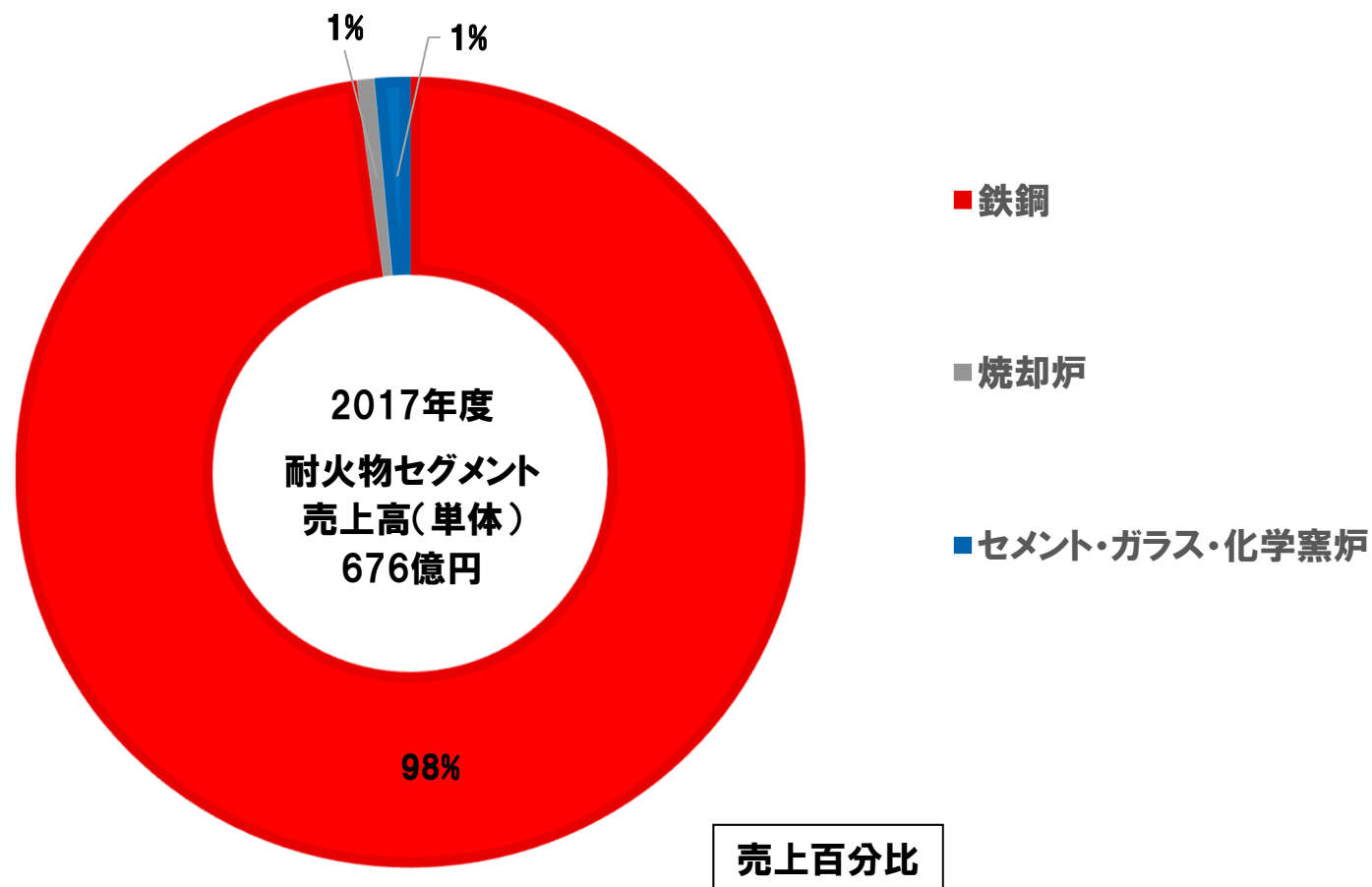


各種耐火物

納入先は国内外の鉄鋼メーカー



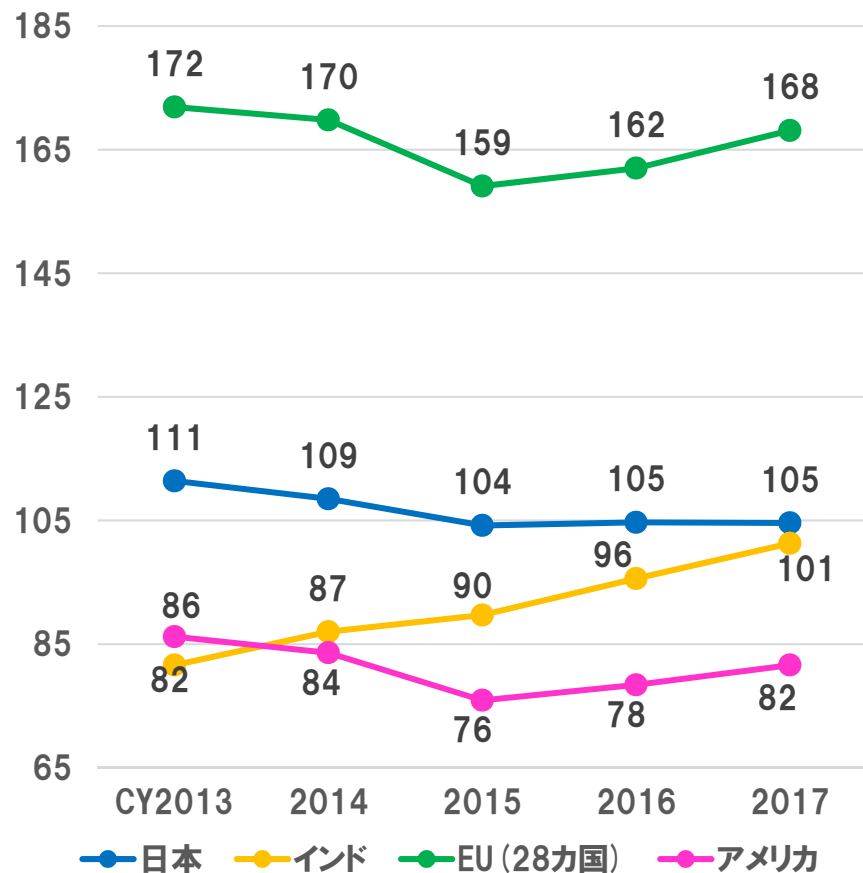
耐火物のうち98%を鉄鋼向けに販売



国内粗鋼生産は堅調、世界粗鋼生産は過去最高レベル

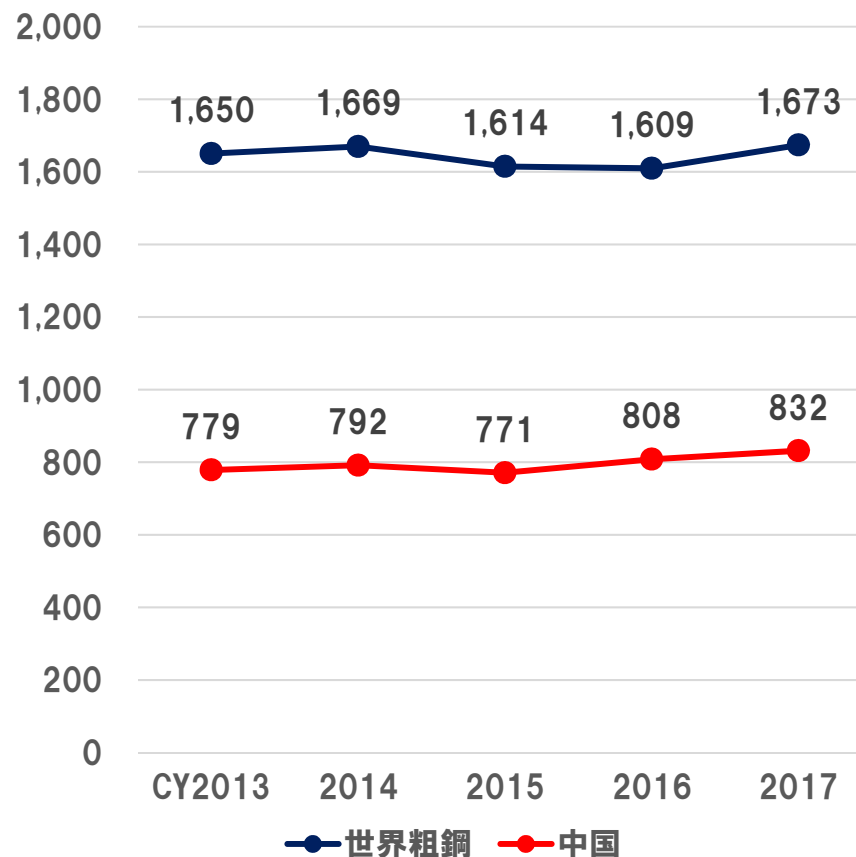
日本・インド・EU・アメリカの粗鋼生産

単位:百万トン



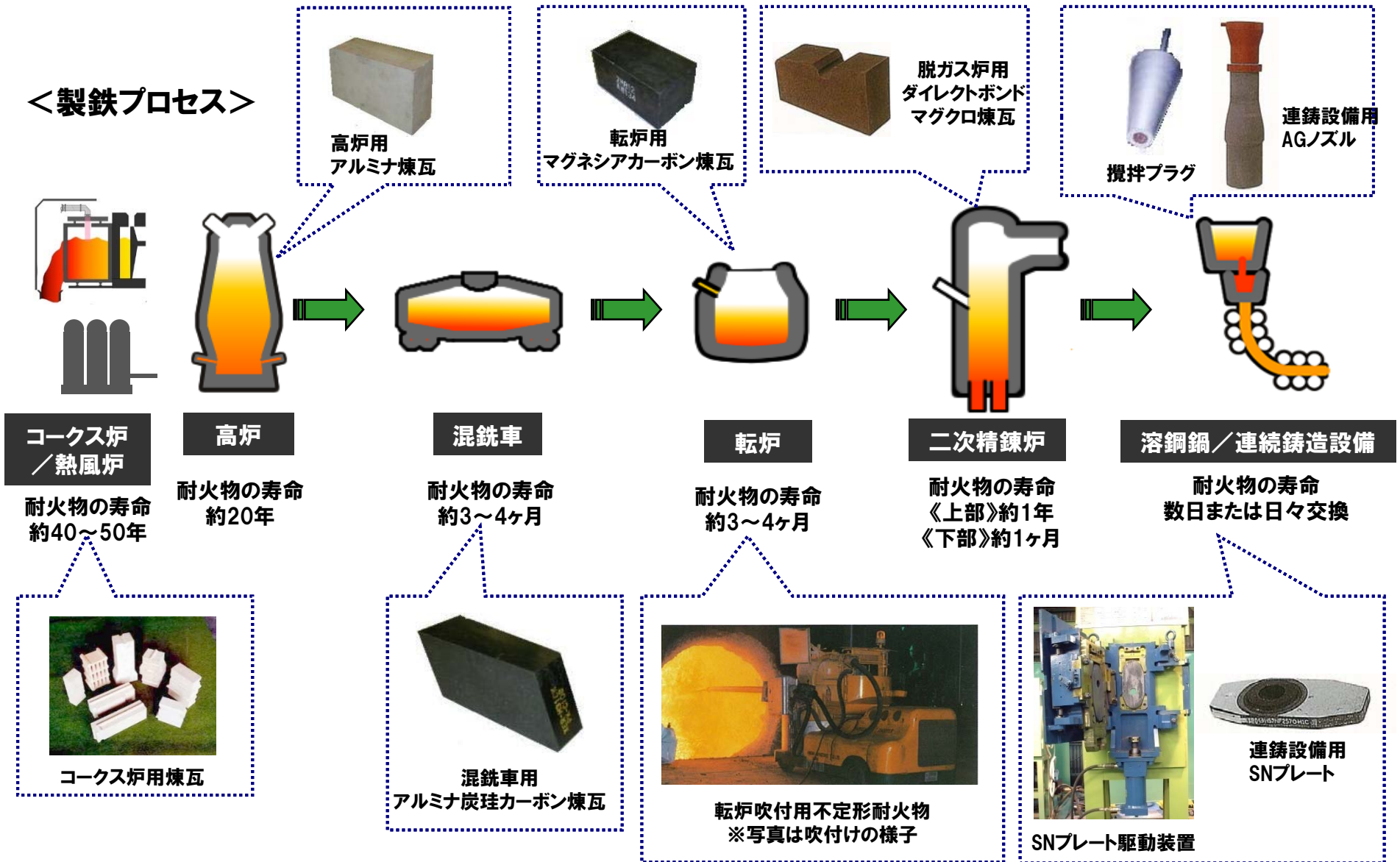
世界全体および中国の粗鋼生産

単位:百万トン







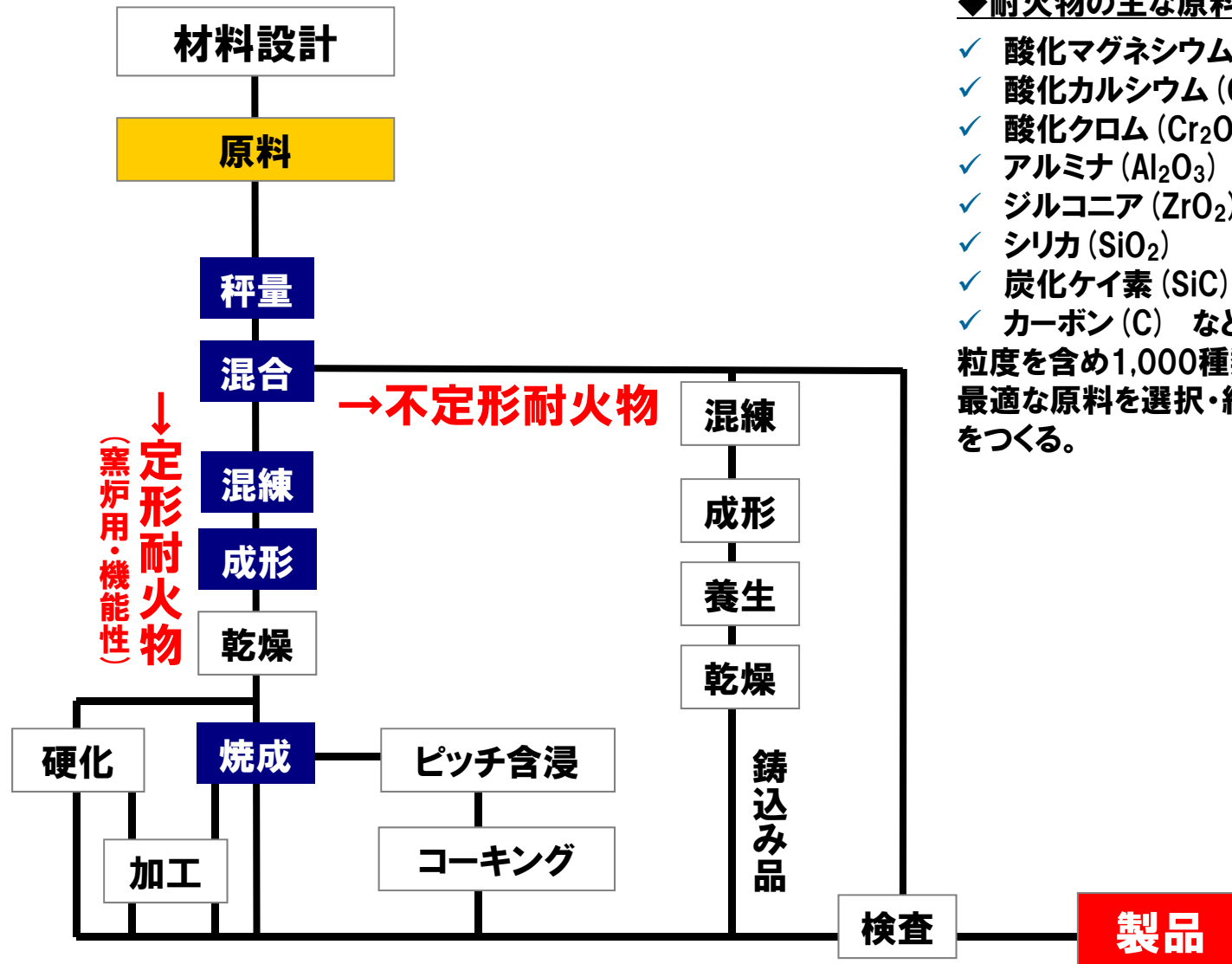
耐火物：製鉄に不可欠な基礎資材

<製鉄プロセス>



主な耐火物製品の販売市場／生産拠点

耐火物の分類	窯炉用耐火物 	機能性耐火物			不定形耐火物	
		連続製造用AGノズル 	連続製造用SNノズル・プレート 	攪拌プラグ 	補修材／流し込み材 	マッド材 
適用される主な製鉄設備	高炉、熱風炉、 コークス炉、 混銑車、転炉、 二次精錬炉	連続製造設備	連続製造設備	溶鋼鍋	高炉、転炉、 溶鋼鍋	高炉
用途(機能)	設備の内張	溶鋼の整流	溶鋼の流量制御	溶鋼の攪拌	補修、 設備の内張	高炉出銑口の 閉塞
黒崎播磨グループの 主な生産拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・アメリカ ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド
黒崎播磨グループの 主な市場	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・欧州 ・北米 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・北米 ・欧州 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・北米 ・欧州 ・豪州 ・インド



◆耐火物の主な原料◆

- ✓ 酸化マグネシウム (MgO)
- ✓ 酸化カルシウム (CaO)
- ✓ 酸化クロム (Cr₂O₃)
- ✓ アルミナ (Al₂O₃)
- ✓ ジルコニア (ZrO₂)
- ✓ シリカ (SiO₂)
- ✓ 炭化ケイ素 (SiC)
- ✓ カーボン (C) など

粒度を含め1,000種類以上の原料から、最適な原料を選択・組み合わせてレシピをつくる。

省エネルギー、耐久性向上でお客様に貢献

●プッシャー炉

▶ ビーム連続加熱炉等



●ウォーキングビーム炉

▶ シームレス鋼管加熱炉等



●ウォーキングハース炉

▶ 特殊鋼ビレット連続加熱炉等



●耐火物築造工事

▶ 耐火物築造、解体、メンテナンス作業



(混銑車)



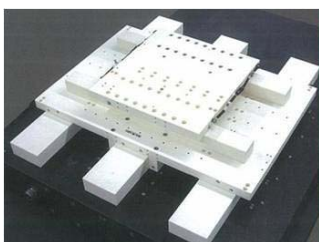
(コークス炉熱間積替)



お客様の絶え間ない「高性能化」に貢献

●精密部品用セラミックス

▶ 半導体製造装置、測定機器、光学機器分野



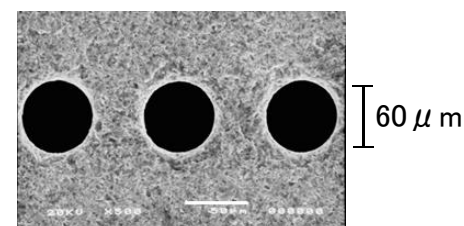
大型形状と精密加工やアッセンブリー技術の強みを活かした精密機械や半導体製造装置向けファインセラミックス。



ゼロ膨張セラミックスNEXCERA™の優れた寸法安定性、環境ロバスト性を活かし、原器や精密測定機器の更正器として適用開始。

●マシナブルセラミックス

▶ 電子部品製造、産業機械、半導体製造分野



金属加工と同様に加工できる易加工性セラミックス。ミクロンオーダーの微細加工を実現。写真は、小径穴加工(直径60 μm)したマセライトHSPのプロブカード(ウエハーに形成されたICチップの検査治具)。

●スパッタリングターゲット材

▶ 電子部品、半導体デバイス分野



電子部品や半導体デバイスを熱や摩耗から守る薄膜を形成する高純度セラミックスのスパッタリングターゲット材。サーマルプリンターヘッド等に適用。

●電子部品焼成用部材

▶ 電子部品製造分野



主にセラミック電子部品の焼成工程に不可欠な部材。セラミックコンデンサ分野においては世界でシェアNo.1を誇る。

省エネルギー・環境分野で社会に貢献

●高機能断熱材

- 製鉄・非鉄、各種工業炉、航空機、自動車分野



断熱性能が静止空気より優れ、既存の断熱材より格段に優れる断熱特性を発揮して、省エネや薄肉化・小型化・軽量化による生産性向上に寄与。

●薄型面状ヒーター

- 液晶・有機EL製造、半導体製造、高性能ヒーターユニット分野



薄い面状ヒーターで優れた均熱性、熱応答性が特長。さまざまな産業分野で生産性向上に寄与する。設計ニーズから対応できて、大小サイズのヒーターを提供できる。

●高機能蓄熱材

- 蓄熱暖房分野



抜群の蓄熱特性を有するセラミックス材料で蓄熱暖房機や床下暖房機等に適用される。夜間電力利用により電気エネルギーの有効活用に貢献。

●エコ建材

- 舗装・外壁れんが等建材分野



透水、保水等の環境機能を有し、風合いと意匠性を兼ね備えた建材。都市建材リサイクル材を原料に使用する技術をもって循環型都市形成に貢献。



<http://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



100年の技術を未来へ